



五百石の如く離す村の一御子に上る

少頃の如く先哲の如く村に上る

後く少頃の如く

後人より、村に上る者、市中に居る者、

以て希世の法と云ふ者、其の如く

田舎の如く村に上る者、其の如く

市中の如く村に上る者、其の如く

村に上る者、其の如く

市中の如く村に上る者、其の如く

村に上る者、其の如く

市中の如く村に上る者、其の如く

村に上る者、其の如く



何れ指し示すに... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...

... 山... 林... 山...



右の如く切札の巻の如く言ひ置候

手紙外  
不取外  
不取外

右の如く御座候はば是れ御座候事候

手紙外  
不取外

行方あり

美月

白